

司法試験シンポジウム

～新しい状況下での司法試験の出題傾向等の検討～

日本弁護士連合会では、新司法試験の開始以来、司法試験の出題内容から運営方法まで、その時々的重要課題を取り上げて「司法試験シンポジウム」を実施しています。

司法試験の出題、採点に関しては、司法試験考査委員の中から選任された検証担当考査委員による検証作業が行われる体制が敷かれていますが、出題の仕方の工夫といった技術的問題にとどまらず、より適切な選抜機能を果たすにはどうすべきかが問われています。また、2019年には、法科大学院の教育と司法試験等との連携等に関する法律の改正が行われ、在学中受験を前提とした場合に、司法試験の内容や試験方法、採点等についても、これまで以上に法科大学院のカリキュラムを踏まえたものとする事が求められています。

こうした流れを踏まえて、司法試験の論文式試験のあるべき方向についての議論を行う予定です。

申込期限

2/9(金)

■日時■ 2024年2月17日(土)午後1時～午後5時

■会場■ AP新橋5階 Kルーム+ZOOMによる配信

要:事前申込み(会場は先着50名)

会場:東京都港区新橋1-12-9(新橋駅銀座口徒歩1分)

申込みURL:<https://form.qooker.jp/Q/auto/ja/shihoshikensymp/ss0216/>



◆プログラム(予定)◆

- ① 今年度の短答式試験及び論文式試験の経年分析
- ② 法科大学院協会による今年度司法試験についてアンケート調査

報告者: 堀田 周吾(東京都立大学教授・法科大学院協会司法試験等検討委員会主任)

- ③ 今年度の在学中受験者および修了者受験者の合格率等の状況報告
- ④ 司法試験及び予備試験のデジタル化について(法務省)

(2) パネルディスカッション

報告者: 小幡 純子(日本大学大学院法務研究科教授・行政法)

北村 雅史(関西大学法科大学院教授・商法)

渡辺 徹(大阪弁護士会・北浜法律事務所)

※ご提供いただいた個人情報は、日本弁護士連合会の個人情報保護方針に従い厳重に管理し、本シンポジウムに関する事務連絡のみに使用し、イベント終了後廃棄いたします。